



秋田大学広報誌〈アプリーレ〉

Aprire

No. 57
2017



〈特集〉
研究・産学連携

〈長寿・健康研究教育拠点取り組み課題例〉

長寿・健康増進に関する研究開発

- 遠隔診断、遠隔医療
- 積雪等通院困難患者の診療支援
- 生体センシング
- 認知症の医療(診断、予防、支援)
- がん診療(がんの低侵襲治療)
- 酸化ストレス疾患 解明・検出
- バイオマーカー微量検出
- 脳機能診断
- 認知症診断
- DDSによる治療技術
- 生体医療材料
- 発症前診断のための高感度バイオセンシング手法

高齢者支援システムに関する研究開発

- 介護支援システム
- 自殺予防
- カラー画像(分光画像)を用いた遠隔診断・診断支援・在宅看護支援等
- 加速度計、心拍モニタ等を使った生活モニタリングシステム
- 視線による情報入力システム
- 空間認識と注意配分の加齢変化に対応したインターフェース
- 軽量・剛性の高い金属材料
- 作業用アシストスーツ(人工筋肉)
- BMI (Brain Machine Interface) による介護・自立支援システム
- 冬期間治療薬配送システム
- 雪下ろし支援ロボット
- 歩行支援システム

高齢者医療における特異的疾患の診断・治療に関する研究開発

- 免疫機能賦活化食品・サプリメント
- 脂肪分解促進食品・サプリメント
- 血糖値上昇阻止食品・サプリメント
- 乳酸菌サプリメント
- 薬菌サプリメント
- 抗酸化食品開発
- 簡易飲料水製造フィルター装置
- 食中毒・感染防止抗菌コーティング

長寿・健康研究教育拠点の形成を目指し、現在、次の3つのプロジェクトが展開しております。

心拍・呼吸・体動遠隔監視システムの研究開発
大学院医学系研究科 尾野 恭一 教授

私たちは、非接触で「心拍・呼吸を含む生体振動情報」を取得する方法として圧電素子振動センサーをベッドマットに組み込み、適切な波形処理を行うことで、生体から発せられる振動シグナルの生理的な意味付けを研究を行っています。現在、これに通信技術を組み合わせ、高齢者介護医療の現場に活用することを目指して実証実験を重ねています。このシステムが確立すれば、本人の普段通りの生活の中で健康状態を見守りながら、病気の予知、病状の把握、安否確認、離床検知、看取り、等が可能になります。また、介護者の負担軽減に役立っているのではと期待しています。

秋田大学・東京工業大学・秋田県医師会による「長寿・健康研究教育拠点」の形成へ、技術を活用した遠隔診断・遠隔診療や生体センシングにも力を入れており、その一翼が担えるよう努力して参ります。

先端共同研究による医用工学のイノベーション
大学院医学系研究科 島田 洋一 教授

秋田大学では、私と理工学研究科の森見教授が、脳卒中や脊髄損傷の麻痺した四肢機能を再建する機能的電気刺激(MES)や脳卒中片麻痺による世界初の慣性センサーを用いた健側肢計測によるロボット制御で患者個人に特化した歩行リハビリでは、従来高額で大型な訓練ロボットしかありませんが、持ち運びができて、安価な卓上リハビリマウスを開発しました。さらに多くのオリジナル技術を高齢者に活用しています。これらの技術と融合させ、東京工業大学では小池教授が、脳で考えた事を麻痺や欠損した四肢に命令として伝える機能を再建するブレインマシンインターフェースを開発しています。また、鈴木教授は直径10mmの細径マッキンペン型人工筋肉を開発し、人体のあらゆる動きを再現できるシステムを構築しています。この技術を秋田大学医学部附属病院と連携し、術後や拘縮した膝、手指の運動訓練に利用するContinuous Passive Motion(CPM)への応用を進めています。また、関節的空気圧迫装置は、術後や長期臥床に伴う血栓形成を阻害しますが、下腿圧迫による装着感の問題があり、人工筋肉を応用した新たな装置を開発を進めています。三宅教授は神経振動子を用いたWaikato-Mate Robotを作成しており、この技術を用いて呼吸訓練装置に人工呼吸器からの離脱を進めるため開発を進めています。

微生物を活用した健康関連製品の開発
大学院理学系研究科 伊藤 英晃 教授

日本は世界でトップクラスの平均寿命の長い国ですが、日常生活に制限のない期間(健康寿命)は平均寿命に比べてかなりの開きがあります。一般に、高齢に伴って免疫機能が低下し、ウイルスや細菌感染やがん等の様々な疾患に罹患する確率が高くなります。そのため、高齢化社会においては、健康を維持した長寿社会の構築は必要不可欠です。

ヒトの鼻や口、腸などの粘膜にはウイルスや細菌などの異物が体内に侵入するのを防ぐため、最初の異物ブロックとして、強い抗菌作用を示す抗菌ペプチドが働き、生体を防御します。もしも体内に侵入した場合、体内進入異物ブロックとして、サイトカインの一種であるインターフェロン(β、IL-1β)の誘導により、インターフェロン(β)が産生され、その結果、ナチュラルキラー細胞(NK細胞)が活性化され、ウイルスやがん細胞を攻撃する免疫システムを備えています。最近、発酵食品の中から微生物の作り出す多くの生理活性機能が報告されています。

東京工業大学との共同により、秋田県の発酵食品の中から、粘膜局所で抗菌ペプチドを高誘導する乳酸菌等の微生物を探索・同定・単離します。また「L-ヒスチン」を高誘導する乳酸菌等を探索・単離します。このように、生体にとって有用な微生物を殺菌後、粉末状態とした製品開発を目指します。

秋田県産の発酵食品由来の免疫機能を活性化させる乳酸菌等の微生物を用いて、健康にとって有用な食品添加物やサプリメントとしての製品化を目指していきます。

特集 研究・産学連携



秋田大学では、地域産業振興策や地域課題解決に寄与することを目指すに、秋田県が掲げる政策に対応した研究・産学連携体制を整え、地域産業の発展に取り組みをしております。今回は、「医理工連携産業界研究」(航空産業研究)分野において重点的に展開している取り組みを紹介いたします。

秋田大学・東京工業大学・秋田県医師会の三者間による「長寿・健康研究教育拠点の形成へ」の医理工連携

秋田大学と東京工業大学、秋田県医師会が3月29日に高齢者社会への対応に向けた三者間の連携協定を締結しました。秋田県の地域医療、高齢者医療の向上や地域住民の健康増進を目的とし、それぞれが持つ医学や工学に関する技術やデータを共有し、新技術の開発や人材育成に取り組んでいきます。



長寿・健康研究教育拠点の形成を目指して
秋田大学 山本 文雄 学長

秋田大学・東京工業大学・秋田県医師会の三者間連携では、今後、我が国が直面する超高齢化社会への対応と国民の長寿・健康に関する取り組みを開始していくこととなります。連携事項としては、長寿健康社会の実現に資するための学術研究や大学院教育、教員の相互交流の推進のほか、長寿・健康研究教育拠点の形成、地域医療分野での実証などを掲げております。

現在、研究面においては「遠隔診断・遠隔医療技術」「介護支援システムや介護機器・ロボット」「健康食品・病気予防技術」などのプロジェクトを開始しております。これらの先端的な研究開発により、地域医療や高齢者医療の向上、地域住民の健康増進を図るとともに、健康産業の創生にも寄与できるものと考えております。

また、教育面では、秋田大学と東京工業大学の「医理工連携大学院」特別専門学習コース(仮称)の設置を検討しております。秋田大学では、医学系研究科と理工学研究科に「医理工連携」の教育プログラムを既に開設しており、当該コースでは、医学と理工学双方の言葉を理解し、医療現場のニーズを把握しその解決に取り組んでおります。これらにより、両大間で取り組むことができ、より高度で広範な知識や技術を得ることが可能となり、次世代の健康・医療・福祉関連技術の担う人材の育成にも結びつくものと考えております。

長寿・健康研究教育拠点形成の目的は、社会的要請の高い課題を解決する研究を実施し、国内外で高く評価される成果を生み出し、次世代研究者を育成することにあります。そのためにはこの三者間の連携だけでは、拠点形成に向けた取り組みを進めることが難しい面もあります。秋田県などの自治体や県内企業、金融機関などからの理解とご支援をいただきながら三者間連携を進めていく所存です。

キットオフフォーラムの開催

7月25日に、「長寿・健康研究教育拠点形成を目指して」と題し、三者間連携協定に係るキットオフフォーラムを秋田大学で開催しました。フォーラムでは各機関代表及びご来賓の挨拶の後、秋田大学及び東京工業大学の教員から実際の連携プロジェクトについて説明が行われました。参加した自治体・企業関係者らは、新たな健康・医療・福祉関連技術の開発・実証・実用化に向けた情報に関心を寄せていました。

発・実証・実用化に向けた情報に関心を寄せていました。

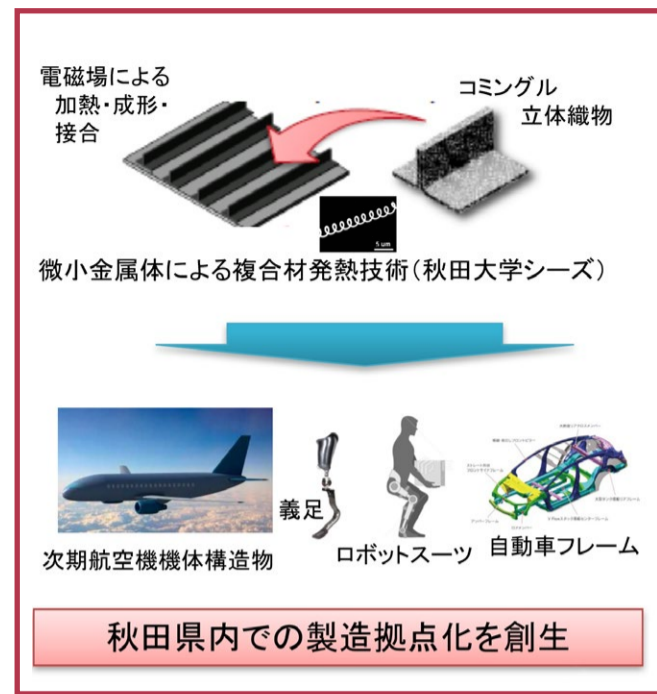
航空機複合材の製造技術と電波吸収ナノ材料の開発

航空機部品の製造拠点化への取り組み

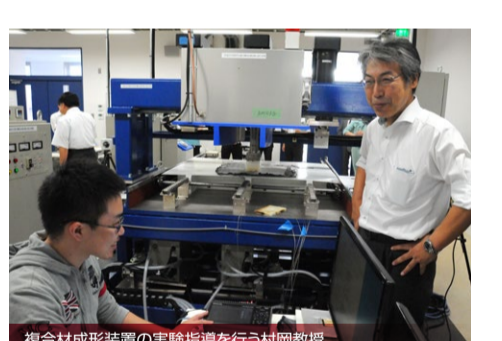
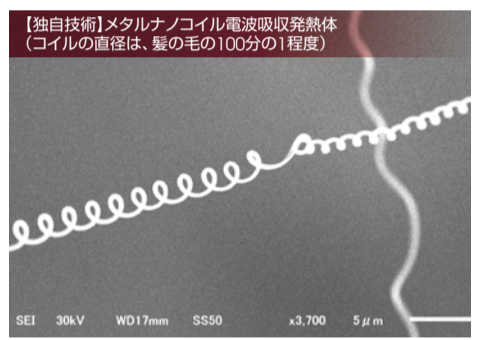
秋田大学と三菱重工工業株式会社の共同研究成果をもとに、炭素繊維複合材の新し成型技術を開発する秋田県地方創生事業がスタートしています。この複合材は、航空機の構造材としての利用が期待されるほか、その技術は「安い」「軽い」「容易」にできることが特徴であることから、自動車部品など複数の分野で事業化の見込みがあり、秋田県での新たな産業創出が期待されています。

秋田大学発の技術シーズで新たな産業創出を

「複合材」や「成型技術」などの用語は、普段聞きなれないかも知れませんが、「繊維強化プラスチック」といった複合材料は比較的知られてい



秋田県内での製造拠点化を創生



となつている産業分野です。今後10~20年の間に需要拡大する格安航空会社(LCC)市場など、世界が増加する旅客機需要を取り込もうと熾烈な競争が始まっています。一方、軽くて丈夫なCFRPは製造に多数の人手と手間を要するため、高コストとされています。秋田大学は、複合材の低コスト製造法にあり、通常、炭素繊維複合材料はオートクレーブという釜で長時間硬化成形する加熱方法が主流ですが、メタルナノコイルを用いた電磁波による加熱・成型方法を、いわば電子レンジ的な発熱で、炭素繊維複合材料を短時間で加熱成形し、所要時間を従来に比べ圧縮し、短時間・低コストを大幅削減することができ、また、炭素繊維複合材の中間素材として、加熱すると融ける

「秋田複合材新成形法技術研究組合」を設立

このような秋田大学の技術シーズに秋田県も注目し、県地方創生における重要施策のひとつ「航空機部品製造拠点の実現」に向け、4月3日、県の全面的支援を受けて、秋田大学、秋田県立大学、日本精機株式会社、株式会社三栄機械の4機関で組織する「秋田複合材新成形法技術研究組合(略称:ANCC技術研究組合)」が新たに設立されました。組合の理事長



熱可塑性プラスチック繊維と炭素繊維からなる編物を採用している点も時間短縮に貢献しています。今後の研究開発にあたっては、中期的には、自動車フレームや医療福祉分野におけるCFRPや繊維強化プラスチックの複合材等、現在、幅広い用途を視野に入れた開発工程を検討しているほか、電波が飛び交う情報社会の安全安心を守るため、革新的で高性能な電波吸収ナノ材料メタルナノコイルの特性を活かし、電波障害等によるEMC(電磁両立性)対策技術への応用についても期待されていると語っています。

秋田県厚生農業協同組合連合会

能代厚生医療センター、湖東厚生病院、秋田厚生医療センター、由利総合病院、JA秋田厚生連

かつの厚生病院、北秋田市民病院(指定管理者)、大曲厚生医療センター、平鹿総合病院、雄勝中央病院

検索

秋田魁新報のウェアサイトは役に立つ!!

10月に新料金コース登場!!

秋田魁新報 電子版

http://www.sakigake.jp/ さきかけ

秋田大学生協は秋田大学生を応援します

秋田大学生の学生生活を日常的にサポートするのが大学生協です!

各店舗の営業時間もここからチェック!

秋田大学生協HP

つながる元気、ときめきキャンパス。

UNIV. CO-OP

秋田大学生協 ☎ 0120-327-141

リレーエッセイ 第5回

秋田大学に期待すること

秋田大学経営協議会学外委員の皆さんから秋田大学に対するメッセージを寄せていただいております。

公益社団法人 秋田県看護協会 会長 高島 幹子



秋田県の高齢化は極めて高いレベルにあります。そこで県では、さまざまな健康寿命を延ばす取り組みを始めます。秋田大学は高齢者医療先端研究センター(仮称)の設立実現を目指して佐竹知事に財政支援を求める要望書を提出したとのニュースがありました。

私は、秋田大学医学部附属看護学校現医学部保健学科で学び、その後は同附属病院に入職して看護師として働きました。平成19年からは看護部長、24年からは副院長を兼務して病院執行部の一員として患者さんへ安全で安心な医療を提供するための様々なシステム構築に関わりました。看護職員の卒業教育の充実や客観的臨床能力試験(OSCE)導入も看護の質を上げて安全・安心につなげることが主旨でした。

今、県看護協会会長として大学の外に出て感じることは、高齢化の進展です。大病院で看護学部では若い職員が多く、産休も年間40人を超えています。看護部

長としては、人員確保に苦労する日々が続く、秋田県の高齢化率一位は、数値として認識してはいたものの実感はありませんでした。日本全国、超高齢社会に対応するために、地域包括ケアシステムの構築に厚生労働省が躍起になっていて、しかし、各地域に合わせた構築していただきたいと言われています。多職種連携が要となるケアシステムです。誰かがリーダーシップを発揮しないと進みません。「待ち」の姿勢では何も変わりません。地域の包括的な支援・サービス提供体制を整えるためには、自助、互助、共助、公助の4つの要素が、重要な意味を持つてきます。出発点は自助ではないでしょうか。

秋田大学にも同じことが言えるように思います。大学の使命を果たすためには、各学部等が、その役割をしっかりと努めることが肝要です。大学の教員は、はじめとして、多職種がそれぞれの力を発揮してこそ大きな力を発揮します。

秋田県で唯一の国立大学は、学び舎としての国立大学からいよいよ、県民から

の期待は非常に大きいものがあります。地域に根ざした輝く大学であり続けて欲しいと期待されています。これらの期待に応えるためにも、大学職員ひとり一人も、私のように大学に関わっているすべての者が、「自助」の部分でできる最大限の能力を発揮できているだろうか。あるいは「互助」「共助」の役割が果たされているだろうかと自問し実践することが大事です。

これらの力が「丸」となって、大学の使命に沿った成果が挙げられた時に、初めて国から他県からも認められるのだと思います。私は、人生の大半を秋田大学と共に歩んできました。歴史ある釜山学部・芸学部から始まった秋田大学、そして戦後、初めて医学部が新設された秋田大学。職員・学生・関係者の力が結集できた時、今後とも限りなく発展しようと考えています。上述の高齢者医療先端研究や地域包括ケアの提供体制において秋田大学には「自助」のリーダーたることを期待します。

秋田大学ポツワナ事務所の設置

世界有数の資源産出国である南部アフリカのポツワナに「秋田大学ポツワナ事務所」を設置し、6月28日に開所式を行いました。同国に事務所を設置するのは国内の大学では初めてとなります。

この事務所は、南部アフリカ地域での調査研究、教育活動やテレビ会議システムによる学生への遠隔授業などを実施するほか、国際資源学部必修科目「海外資源フィールドワーク」における海外フィールド拡大の拠点として、協定校であるポツワナ国際科学技術大学(BUSU)内に設置するものです。

式では、在ポツワナ日本大使館の滋賀正樹参事官やBUSUのOthogetswe Tlotlo学長らも出席し、山本文雄学長から「これまでも海外の大学と提携してシンポジウム開催、共同研究、学生の短期研修などを実施しているが、なかでもポツワナは資源分野における教育研究のために不可欠な国のひとつ。今回の事務所設置を機に、学生の交流や出前講義が盛んになることで、協力が関係がさらに強化されていくと確信している」と挨拶がありました。

事務所には、担当教員を交替で駐在させ、南部アフリカ地域での活動のため積極的に活用を図ることとしています。

式では、在ポツワナ日本大使館の滋賀正樹参事官やBUSUのOthogetswe Tlotlo学長らも出席し、山本文雄学長から「これまでも海外の大学と提携してシンポジウム開催、共同研究、学生の短期研修などを実施しているが、なかでもポツワナは資源分野における教育研究のために不可欠な国のひとつ。今回の事務所設置を機に、学生の交流や出前講義が盛んになることで、協力が関係がさらに強化されていくと確信している」と挨拶がありました。

事務所に、担当教員を交替で駐在させ、南部アフリカ地域での活動のため積極的に活用を図ることとしています。

男鹿半島はいいとこだあ

空気はうめえし 水っももうめえし

武田のとうふももうめえし

やっぱり

男鹿はいいとこだあ

武田のとうふ

秋田県男鹿市男鹿中山町下野の沢20番地の10 TEL 0185-33-2505 FAX 0185-33-3531

Kashiyama Vacuum Solutions

椋山工業株式会社

真空ポンプで世界 No.1を目指す!

〒385-8511 長野県佐久市根々井1-1 TEL: 0267-67-3311

http://www.kashiyama.com info@kashiyama.com

ホームページで新卒採用エントリー受付中

豊かな自然を引き継ぎ 成長していく会社でありたい。

雄勝セラミックスは、創業以来たずさわる電子部品製造のノウハウと、未来に向けてICT技術と地域の自然を融合させて事業を推進しております。

事業内容 ◆電子部品製造加工 ◆情報システム開発 ◆食品製造販売

雄勝セラミックス株式会社

OGACHI Ceramics CO.,LTD

〒019-0203 秋田県湯沢市寺沢字本郷82-1

Tel 0183-52-4343 Fax 0183-52-4348

http://www.ock.co.jp/

教員

紹介

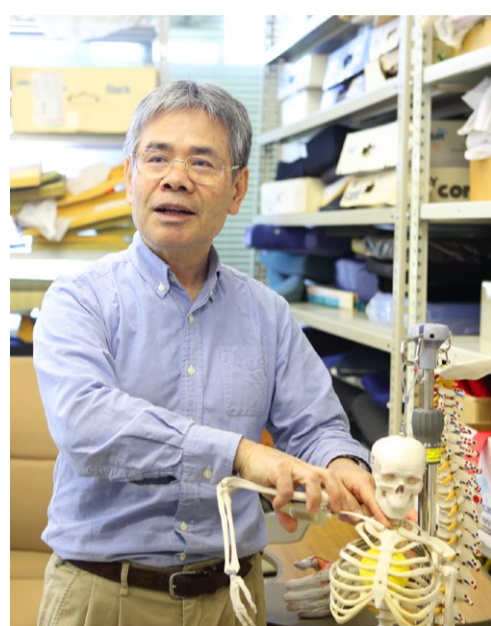
工学的な測定データを基に、一人ひとりに合ったものをつくる

リハビリテーション等の作業療法を専門としている金城教授ですが、出身は工学系。ものづくりにお手の物です。身体に合わない車椅子を使用していると、姿勢が崩れたり、その崩れた姿勢が固定化されたり、緊張が強くなったりするといった問題が生じます。この問題を改善する方法の一つは、車椅子の座面にクッションを入れること。これだけでも座り心地が格段にアップします。金城教授のモットーは「利用者一人ひとりに合わせて調整した車椅子や福祉用具をつくること。座り心地が「良い」という感覚的な評

価だけではなく、筋電図や座圧計を用いた工学的な測定結果の裏付けを基に、駆動しやすい座りやすい車椅子の開発、利用しやすい介護介助用品の提案をしています。研究室には今まで金城教授が手掛けてきた車椅子や座椅子、補助用具の試作品がずらりと並び、いかに

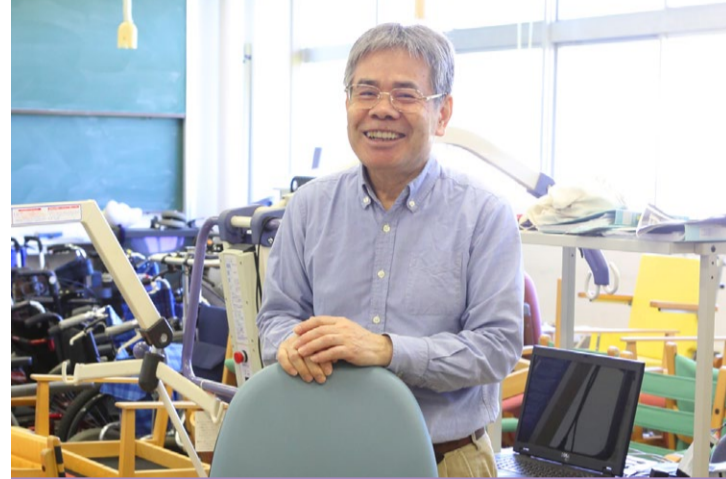
自分の身体の動かし方、知っていますか？

金城教授が繰り返し話すのは「自分の身体を知りましょう」人の動きを



医学部

皆さん、もっと自分の身体を知りましょう



大学院医学系研究科 保健学専攻 作業療法学講座
金城 正治 教授

「知られたい」ということ。例えば、前屈をする身体を前に倒すとき、皆さんの身体はどこから曲がり始めるのでしょうか？多くの方が「腰」と答えるかもしれませんが、それは「股関節」なのです。なぜ人は立つことができるのか、腕や脚はどこの部分で動かすのか、スマートフォンを操作するとき、首や肩のどこに力が入っているのか？金城教授は「私たちは自分の身体について自分自身で知っているよりも知らないことが多い」と言います。

介護職員の腰痛問題

介護施設等で利用者やベッドから起（こ）したり、寝返りを促すとき、利用者も介護職員も力だけで身体を動かさず、自分の身体を動かすのではなく、身体の中の部分で動かすのかを理解することが重要です。介護職員は腰痛になる方が多く、それが原因で離職してしまう方もいますが、本当に腰痛と言っているのは、全体の2/3割。ほとんどの方は自分の身体の構造や動かし方を痛めてしまっているのです。



自分で動く喜び・満足感

「利用者には介護職員に動かされたという感覚ではなく、「自分で動く喜び・満足感を感じてほしい」と金城教授は言っています。



金城教授が開発し商品化された、低座椅子

秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻・秋田大学医学部保健学科ホームページ <http://www.med.akita-u.ac.jp/hoken/index.php>

●秋田大学研究者特設サイト「Lab Interview」で、インタビューの詳細や学生の声を掲載していますので、ご覧ください。 <http://www.akita-u.ac.jp/honbu/lab/>

人々の暮らしに必要不可欠な「レアメタル」と「レアアース」とは？

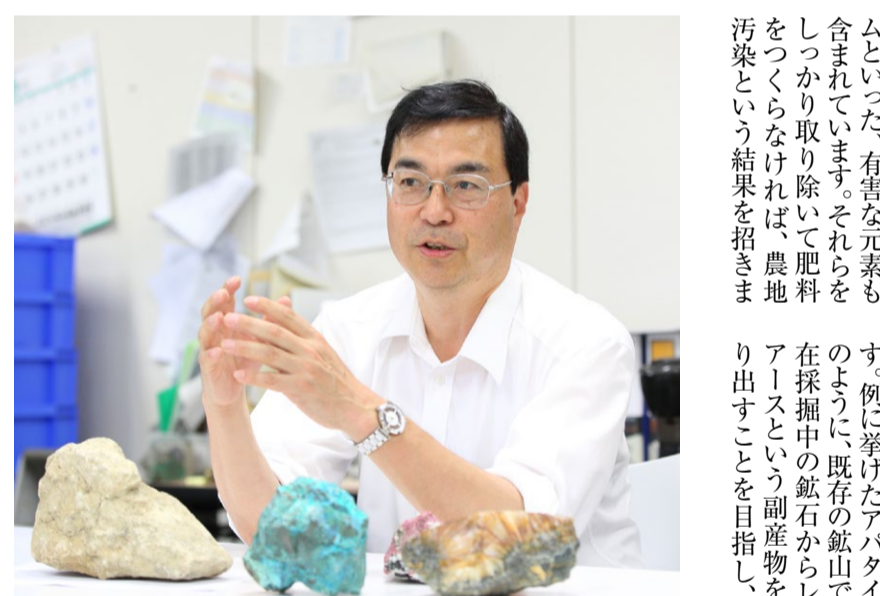
「レアメタル」とは、その名の通り「希少な金属のこと。地球上での絶対量が少ない、もしくは採掘と製錬が困難であるにも関わらず、国際的に安定的な供給が必要とされる金属のことです。そしてその中の17つの元素グループが「レアアース」と呼ばれています。

レアメタルやレアアースは、私たちの身近な家電や日用品の内部に使われています。例えばパソコンやテレビの液晶にはインジウム（In）やガリウム（Ga）が、携帯電話にはリチウム（Li）やコバルト（Co）が、ハイブリッド自動車などは、人々の文化的かつ豊かな暮らしに、レアメタルやレアアースは必要不可欠なものとなっています。このように多くの資源が必要とされる中で、日本では閉山となったため、自国の供給源がなく、手に入りづらく現状では、自国の供給源が「皆無」、鉱山と赴き、得られた知見を活用して日本独自のレアアース供給源の発見を目指しています。



元素の周期表

可能性を秘めた分野への広がりを求めています。現在、人類が利用している元素は80種類ほど。今まで限られた元素のみを使ってきましたが、昨今の先端技術の発展に伴い、多種多様な元素が必要になったのです。そのような元素がどこに行けば見つかるのか、世界中の地質と資源を調査しています。



薄茶色の鉱石(左)がアバタイト

いつまでも忘れない、最初に感じた好奇心と発見したときの喜び

もともと地球科学について学んできた渡辺教授は、以前は鉱山にそれほど興味があつたわけではなく、と言います。最初の就職先は、工業技術院(現・国立研究開発法人産業技術総合研究所)の地質調査へと配属され、山中での調

査に明け暮れる毎日。ある日、川底でキラキラと光るものを発見しました。それは硫化鉱物の塊、黄金色に輝く「黄銅鉱」だったのです。「なぜ、こんな川の中に？」という驚きとともに、自ら鉱石を発見する喜び、感動を覚え、現在の「資源調査」と進みました。「資源調査はとてもしっかりと、世界中どこへも行けるし、未知の領域との出会いがあります。美しい鉱石や岩石がどこに眠っているんだろう、どのように生成されたのだろう、と考えを巡らせているうちに、いつの間にか、ワクワクする道です。自分自身でこの道を進む。日々の事を思い出します。

国際資源学部

環境保護の視点からの資源開発

～既存の鉱山がもたらす副産物「レアアース」～



大学院国際資源学研究科 資源地球科学専攻

渡辺 寧 教授

既存の鉱石から採れる副産物「アバタイト」

渡辺教授が今一番注目しているのはアバタイトという鉱石です。リンを抽出し窒素とカリウムを混ぜることで、農業用肥料がつくられます。世界中で広く産出されているため、特に珍しい鉱石ではありません。そんな中、渡辺教授が狙うのはアバタイトに含まれる数パーセントのレアアース。今まで肥料に使われていたのは不純物の少ない綺麗なアバタイトでした。しかし、品質なものは掘り尽くされてしまひ、不純物の多いアバタイトを使わざるを得なくなっています。アバタイトにはヒ素やカドニウムといった、有害な元素も含まれています。それらをしっかりと取り除けば、肥料をつくらなければ、農地汚染という結果を招きま

す。これからの資源開発において、環境保護という視点からでも、不純物の除去は非常に大切な工程であると、渡辺教授は言います。



鉱物博物館に展示されている「黒鉱」

秋田大学国際資源学部 資源地球科学コース 鉱物資源・テクトニクス研究室ホームページ <http://www.gipc.akita-u.ac.jp/~yasushiwatanabe/>

僕らの課外活動

アルティメットフリスビーサークル BLITZ



主 将: 間瀬 友亮
(理工学部 数理・電気電子
情報学科 3年次)

所属人数: 57人

活動日時: 月曜日 16:30~18:30
水曜日(隔週) 18:30~20:00
日曜日 14:00~17:00

活動場所: 秋田大学陸上競技場

アルティメットって?

アルティメットって聞いたことがありますか?アルティメットは、バスケットボールとアメリカンフットボールを合わせたような競技で、フライングディスク(いわゆるフリスビー)を用いて競い合います。縦100メートル横37メートルのコート内で、1チーム7人が敵・味方に分かれて1枚のディスクを投げ、パスをつないでエンドゾーンを目指します。エンドゾーン内でディスクをキャッチすれば得点。身体の接触は反則となります。大会によって若干ルールが異なりますが、13点先取などの得点制が主流です。アルティメットは、ワールドゲームズの公式種目となっています。

「究極」(Ultimate)という名のアルティメット

アルティメットは、ディスクの飛行特性を考慮した技術に加えて、高い持久力・スピード・チームワークが必要な特殊な競技のため「究極」(Ultimate)と名付けられています。

秋田大学環境サークル AKT eco

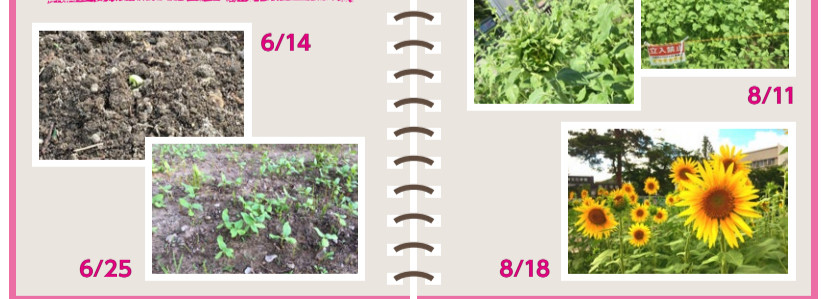
ひまわりプロジェクト

2017年8月、手形キャンパスの一角に300株以上のひまわりが花を咲かせました。ひまわりが太陽に向かって咲き誇る姿は、付近を通る皆を元気にしてくれます。ひまわりの種を撒き、育ててきたのは「秋田大学環境サークルAKT eco」のメンバーたちです。



この「ひまわりプロジェクト」の発案者はサークル代表の大阪飛翔(つばさ)さん。「景観や環境美化の一環として、キャンパスに彩りを添えたい」というところから考案しました。ひまわりの花は、教職員や学生だけではなく、地域の皆さんにも目で楽しんでいただけたらと思います」と大阪さんは語ってくれました。取材時には満開のひまわりでしたが、このあと種を取穫し来年にまた繋げていきたいと話すメンバーたち。来年は、更にキャンパスの多くの場所に花を咲かせたいという目標もあります。

ひまわりの成長日記



サークルの誕生まで

2009年に岩手大学が「エコ大学ランキング」総合第1位を獲得したことなどが刺激となり、2010年に当時の工学資源学部の学生が中心となって設立されました。設立当初から、「秋田大学内で行われている既存の環境活動を良いものにする」「学生に環境を身近に感じてもらう」楽しく環境活

チームワーク抜群の「BLITZ」

入部のきっかけは「先輩や友だちに誘われた」という部員が多く、入部時は、全員が初心者。「BLITZ」です。ディスクを投げたり捕ったりする基本技術や、ゲーム形式の練習などを積み重ねて上達していきます。部員のチームワークも良く、今年度入部した1年次女子部員の石川侑奈さん、藤本響さんらは、大学生活の中でサークル活動が一番楽しいと話します。練習では仲の良い和気あいあいとした雰囲気が一変し、部員たちは真剣そのもの。取材したこの日も、体をめいっぱい動かし、基礎練習やゲームの実践等のハードなメニューをこなしていました。



H28年度の成績

- ★東北リーグ福島大会優勝、秋田大会・仙台大会準優勝
- ★第27回全日本大学アルティメット選手権大会 北海道・東北地区予選3位、本戦18位

今年の目標

- ★学生選手権本戦ベスト8進出

世界選手権大会の日本代表メンバーに選出されました

部員の佐藤光さん、間瀬友亮さん、榎本雅久さんの3名が、2018年1月7日から1月13日までオーストラリアで開催される「WFDF2018世界U-24アルティメット選手権大会」の日本代表メンバーに選出されました。3名は、同大会のミックス(男女混合)部門にエントリーされ、この部門では日本初となる、金メダル獲得を目指します。



代表に選出された佐藤さん、間瀬さん、榎本さん(左から)

動を行う」ことなどが目的として掲げられ、学内での自主的な取り組みのほか、学外への環境イベントに積極的に参加してきました。実は、AKT ecoの顧問の小笠原正剛先生(理工学部・応用化学コース)も学生時代に自らもこのような環境活動に力を注いできました。

こんな活動をしています

- AKT ecoは、主に次のような活動をしています。
- ★秋田駅周辺や大学構内の清掃活動
- ★あきたエコ&リサイクルフェスティバル (主催:あきたエコ&リサイクルフェスティバル実行委員会)への参加
- ★秋田大学科学実験教室への参加
- ★秋田大学環境報告書の学生による自己評価への参加
- ★ひまわりプロジェクト

地球温暖化対策のイベントに参加しました

8月6日に、イオンモール秋田で行われた「みんなでストップ・ザ・温暖化あきたキックオフイベント(主催:秋田県生活環境部温暖化対策課、ストップ・ザ・温暖化あきた県民会議)」に参加しました。佐竹敬久知事によるキックオフ宣言が行われたほか、環境問題に取り組む、各団体による活動紹介が行われました。「AKT eco」は、CO2削減のための方策等についてプレゼンテーションを行いました。

顧問からメッセージ

サークルが設立され8年目を迎えておりますが、多方面から注目されるようになってきました。これも、各年代のサークルメンバーが学内外で地道な活動を積み重ね、良い評価を頂いてきたからだと推測しています。これまでの多くの卒業生と、ご指導頂いた学内外の皆様へ感謝申し上げます。現在のサークル活動が、参加学生自身の様々な経験になるのはもちろんのこと、次世代の学生にとっても貴重な機会の創出へと繋がることを願っていますし、何かできることがあればサポートしていきたいと思っています。

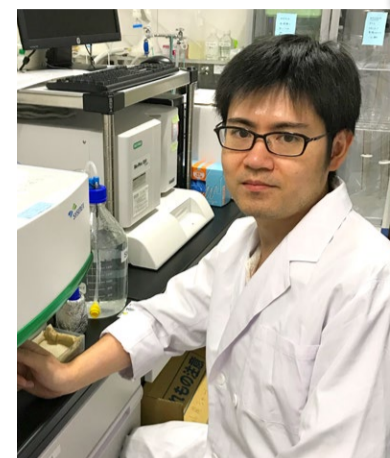
AKT ecoサークルでは、随時部員を募集しております。エコや環境活動に関心のある方は、是非、お声がけください。また、地域等における環境活動のことにつきましては、サークルの顧問までご連絡願います。



小笠原先生との打ち合わせ

先輩なう。

秋田大学卒業生の今(なう)をご紹介します。



PROFILE

藤岡 優樹さん

国立がん研究センター
(秋田大学大学院医学系研究科より
研究留学)

◆医学部医学科
2010年卒業

今の仕事内容、やりがいを教えてください。

国立がん研究センターの研究室(免疫TR分野)で研究を行っています。ご存じの通り、がんはとても恐ろしい病気で、転移などで手術不能な患者さんを根治させることは現在の医学でも極めて困難です。それを完治させる可能性がある治療として注目されているのが、がん免疫療法です。しかし、必ずしも全ての患者さんに効果があるわけではないなど免疫療法の効果については分かっていないことが多く、私の研究室ではそれらの謎を解明するために様々な研究を行っています。私たちの研究成果によって多くの患者さんを救うことができればと期待しながら日々研究を続けています。

卒業された学部を選んだ理由を教えてください。

子どもの頃から医師になるのが夢でした。しかし、受験生のときは自分の学力不足と経済的に浪人ができなかった事情もあり、医学部以外の学部に進学しました。そこでの学生生活はとても充実していましたが、ずっと頭の片隅には医師になる夢がありました。その折、学士編入学という制度があることを知り、縁あって秋田大学に編入学することができました。秋田大学は地元であったことと優れた免疫の先生がいいたこともあって、今でも編入学ができて本当に良かったと思っています。

今の仕事を目指したきっかけを教えてください。

編入学するまでは筑波大学の生物系の学部へ所属し、基礎医学系の研究室で動物モデルを使った免疫の研究をしていました。決して真面目な学生ではなかったと思いますが、当時の教授は「楽しく研究しよう」といつも話していて、ストレスなく研究を始められたことが現在につながっている気がします。研究を続けていると、期待するような結果が出せずに辛い経験をすることも多いですが、私の場合は仲間や環境にも恵まれ乗り越えることができました。医師となり、これからは研究を楽しみつつ社会に貢献できればいいなと考えています。

秋田大学での学びが、現在どのように生かされていますか。

もちろん医学部で学んだ知識は臨床業務を行う上での礎になっています。加えて、医学部の教育体制や意識の高い仲間との出会いから、ただ病を治すだけではなく、医師としての社会的責務や思いやりの精神といった心構えが身についたように感じています。現在の研究も、根底にはがん困っている人を救いたいという思いがあり、それが研究を進めるための活力にもなっています。

後輩にメッセージをお願いします。

人とのつながりは本当に貴重で重要で。私自身もこれまでの多くの人との出会いが今につながっているように感じます。たくさんの人とつながりを持ってよう、学生時代は先入観にとらわれず様々な経験をするのがいいと思います。考え方や人生観を変える出会いもたくさんあると思います。



PROFILE

山蔦 杏奈さん

秋田赤十字病院
作業療法士

◆医学部保健学科
2017年3月卒業

今の仕事内容、やりがいを教えてください。

私は現在、秋田赤十字病院のリハビリテーション科で作業療法士として働いています。作業療法では、障がいのある方がその人らしい生活を送ることができるように、医学的知識の下、作業を用いて患者さんの身体・精神機能の回復を図ったり、社会生活に参加できるようサポートを行ったりしています。まだまだ、知識も技術も乏しいですが、「リハビリ待っていたよ!」「退屈していたよ。さあ、リハビリ行こうか!」というように患者さんから声をかけてもらいながらコミュニケーションがとれた時にやりがいを感じています。



今の仕事を目指したきっかけを教えてください。

昔から「人と関わる仕事をしたい」という漠然とした将来像がありました。作業療法は、「遊び」「仕事」「日常生活」という人の周りにあるすべての作業を利用した仕事です。大学で学んでいくうちに、作業療法というのは作業を通して、その人の機能をいかに引き出すか、その人がどのような考えを持っているのか、その人にとってその作業がどれほど価値のあるものなのか、そういうことを常に考えながら人と関わることができると思い、魅力を感じました。

大学院進学を決めた理由を教えてください。

一番の理由としては、今後、自分の分からないことが出てきたときに、それを検証していく研究のプロセスを学びたかったからです。秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻は、仕事をしながら夜間の講義に通うことができます(空気で臨むこともありますが...)。医学やリハビリはこれからも発展していくものだと思うので、臨床で経験を積むことも大切ですし、今まで大学で学んできたような勉強への姿勢も重要な仕事だと思いました。また、大学の先生方とお話や相談する機会が多く得られていることは、私にとって大学院に入って良かったと思っていることの一つです。

秋田大学での学びが現在どのように生かされていますか。

作業療法専攻の恩師の先生方に常々「勉強もする。遊びもたくさんする。いろいろな引き出しを持っておくこと」と言われていました。私は素直に受け止め、勉強はもちろんですが、遊びやサークル活動にも一生懸命に取り組んでいました。その時の経験は、今の仕事の中でも作業活動として行ったり、関係を築くための話題となったりと、私の武器の一つとなっている気がします。



後輩にメッセージをお願いします。

今やれることを今のうちにやり、多くの経験を積むことはどんな仕事にも生きてくると思います。恩師の言葉に「忙しいは結果論」という言葉がありました。多少時間に無理があってもやれば意外とできるものです。何でも挑戦して毎日充実した大学生活を送ってほしいと思います。

NEWS & TOPICS

ニュース&トピックス

2017.07. >>> 2017.08.

JULY VRを活用した体験型鉱山研修を実施

国際資源学教育研究センターは7月10日、国際資源大学校(秋田県鹿角郡小坂町)で、非鉄会社、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMO)の鉱山技術者及び大手商社からの研修生約30名を対象とした「VRバーチャルリアリティ」を活用した体験型鉱山研修を実施しました。

研修内容は、VRヘッドマウントディスプレイ(HMD)を用いた体験型鉱山研修を国際資源学研究科附属鉱業博物館で行いました。

この研修では、大型スクリーンディスプレイ、モニタータイプ及び今回初披露となったヘッドマウントディスプレイの異なる3



ヘッドマウントタイプの鉱山VRの操作方法を解説する様子

タイプは、教室に居ながら金属鉱山やオーストラリアの鉱山などを体験し、鉱山についての理解を深めました。

日本では唯一の体験型バーチャル鉱山は、現場を俯瞰して全体を見ることができ、利点などから、採鉱の技術伝承や作業効率・安全性の向上の保安教育などの資源学教育の新潮流としての期待されています。



ヘッドマウントタイプの鉱山VRを体験する研修生たち

オープンキャンパス2017

7月29日、手形・本道の両キャンパスで「オープンキャンパス2017」を開催しました。

天候にも恵まれ、受付時間前には県内外の中学生、高校生及び保護者等で長蛇の列がつけられた二幕もあり、当日は約3800人の来場がありました。

プログラムは学部ごとに様々な内容を用意。学部の概要説明や研究室の紹介、模擬授業を行ったほか、職員による入試・奨学金・就職関係等の相談コーナー、在学生による相談コーナーなどが設けられ、高校生らは大学での教育研究、学生生活などについて熱心に情報収集に努めていました。さらに、屋外に設けられた特設ステージでは、学生サークルによる歌や踊りのパフォーマンスのほか、秋田大学学燈会による東北三大夏祭りの1つである学燈まつりのアトラクションなども行われ、参加者たちの目を引いていました。



各学部や研究室紹介の様子 多くの高校生で賑わうキャンパス

教育文化学部附属学校園オープンフェスタ2017

教育文化学部附属学校園(幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校)は7月30日、各学校園のユニークな取り組みを体験コーナーや参加型ミニ授業等で紹介する「オープンフェスタ2017」を秋田市の秋田拠点センターアルヴェで開催しました。

イベントのオープニングでは、成田雅樹附属小学校長の挨拶の後、小学校及び中学校合唱部による合唱の優しくのびやかな歌声が会場を温かく包みました。

会場内では体験コーナー等としてそれぞれブースを設け、特別支援学校高等部の生徒による「EMOカフェ」、幼稚園・小・中学校の教員及び中学校の教員、科学部員による「かたちで遊ぼう」や「空気」の力でやっつけるなどの7つの参加型ミニ授業等には、好奇心溢れた子どもたちが多数参加し、会場をにぎわしました。

このイベントは、附属学校

園の取り組みに関する方々や、入園・入学等を考えている保護者等を対象に平成28年度から行われていた「オープンフェスタ2017」は、子どもや家族等300名余の参加があり、盛況な企画となりました。



会場の様子 参加型ミニ授業「かたちで遊ぼう」の様子

AUGUST

アクティブラーニングを取り入れた産学連携教育カリキュラム成果発表会

8月2日、理工学部システムデザイン工学科創造生産工学コースにおいて産学連携教育カリキュラム成果発表会を開催しました。同コースでは、県内企業6社の課題提供を受け、2年次後期で座学を中心に設計ツールや品質管理を

学び、3年次前期に約4ヶ月間企業を訪問し、現場の課題解決に取り組むという教育プログラムを今回初めて実施しました。アクティブラーニングを取り入れたこの新しいカリキュラムでは、地域産業との連携と人材供給の好循環

医学部附属病院 学燈まつり

8月2日、「平成29年度秋田大学医学部附属病院学燈まつり」を附属病院構内で開催しました。この学燈まつりは、入院中のため秋田県秋田市の伝統行事「学燈まつり」を観覧することができない患者さんらに学燈の魅力を伝えることを目的に、毎年学燈まつり本番直前に行っています。

当日は、秋田大学学燈会が日頃鍛えた妙技を披露。入院中の患者さんたちは医師や看護師の付き添いのもと、一足先に学燈の妙技を楽しみました。演技終了後は、学燈を背景にして記念撮影をしたり、学燈に触れたり、お囃子の太鼓を叩いてみたりするなど、秋田の夏の風物詩である学燈を満喫しました。



妙技を披露する秋田大学学燈会

秋田県子ども子育て支援 知事表彰を受賞

8月10日、秋田県庁で平成29年度秋田県児童健全育成表彰及び同県子ども子育て支援知事表彰の表彰式が開催され、秋田大学が「あきた子育て応援企業表彰」を受賞しました。

この表彰は、秋田県が子ども子育て支援に積極的に取り組む県内企業等を「あきた子育て応援企業」団体として認定し、子育て支援活動団体として、平成20年度から実施しているもので、今年度で10回目。表彰式には、山本文雄県長が出席し、佐竹敬久秋田県知事から表彰状と記念品を受領しました。

今回の受賞は、秋田大学における子ども子育て支援活動としての主な取り組みである、男性教職員の育児休業



記念撮影をする山本県長(一番右)



会場の様子

秋田大学みらい創造基金〈寄附者ご芳名〉

この基金の趣旨にご賛同、ご協力いただきました皆様へ、心より感謝申し上げます。今後とも秋田大学の教育・研究活動等に対し、格段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

- | | | | | | | |
|---|---|---|---|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●株式会社アイネックス 様 ●秋田協同印刷株式会社 様 ●株式会社秋田県分析化学センター 様 ●秋田大学有志一同 様 ●秋田電機建設株式会社 様 ●秋田東北商事株式会社 様 ●石垣鐵工株式会社 様 ●一般財団法人丁酉会 様 ●伊藤建設工業株式会社 様 ●伊藤工業株式会社 様 ●羽後電設工業株式会社 様 | <ul style="list-style-type: none"> ●羽後日産モーター株式会社 様 ●奥羽電気設備株式会社 様 ●雄勝セラミックス株式会社 様 ●医療法人回生会 様 ●開発建設株式会社 様 ●櫻山工業株式会社 様 ●医療法人久幸会 様 ●株式会社グランドレス川端 様 ●株式会社クリステンセンマイカイ 様 ●栗田工業株式会社 様 ●社会医療法人興生会 様 | <ul style="list-style-type: none"> ●佐田建設工業株式会社 様 ●株式会社沢木組 様 ●三共ホールディングス株式会社 様 ●株式会社進藤建設 様 ●株式会社雷与組 様 ●杉山重工株式会社 様 ●株式会社住建トレーディング 様 ●生活協同組合コープあきた 様 ●株式会社タイイヤー 様 ●株式会社タカヤナギ 様 ●有限会社武田豆腐店 様 | <ul style="list-style-type: none"> ●株式会社たけや製パン 様 ●タプロス株式会社 様 ●東北電材株式会社 様 ●中田建設株式会社 様 ●株式会社日産サティオ秋田 様 ●能代電設工業株式会社 様 ●東日本物産株式会社 様 ●株式会社メディア情報システムズ 様 ●本荘電気工業株式会社 様 ●松田グループ 様 ●松橋建設株式会社 様 | <ul style="list-style-type: none"> ●丸水秋田中央水産株式会社 様 ●有限会社丸陽建設工業 様 ●株式会社宮原組 様 ●株式会社むつみワールド 様 ●社会医療法人明和会 様 ●山二環境機材株式会社 様 ●山二建設資材株式会社 様 ●山二施設工業株式会社 様 ●ユナイテッド計画株式会社 様 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ●相原 純一 様 ●青木 洋大 様 ●青山 雅生 様 ●浅田 昌弘 様 ●新井 慎二 様 ●飯坂 和彦 様 ●石川 庄一 様 ●市川 逸郎 様 | <ul style="list-style-type: none"> ●井上 功 様 ●今野 和彦 様 ●岩谷 隆 様 ●越中 秀政 様 ●大高 麻衣子 様 ●大平 芳久 様 ●柏谷 造一 様 ●加藤 宗助 様 | <ul style="list-style-type: none"> ●亀井 克典 様 ●武 桐澤 様 ●李 孝橋 様 ●小澤 潤市 様 ●後藤 芳和 様 ●小林 慶彦 様 ●小川 昇 様 ●佐藤 弘樹 様 | <ul style="list-style-type: none"> ●佐藤 正志 様 ●佐藤 美起雄 様 ●津口 健治 様 ●清水 一用 様 ●清水 大志 様 ●清水 雅行 様 ●菅 美貴子 様 ●鈴木 信夫 様 | <ul style="list-style-type: none"> ●須田 祥治 様 ●高橋 義明 様 ●竹村 勉 様 ●田島 健一 様 ●多田 實 様 ●野沼 賢太郎 様 ●森田 進 様 ●富内 真 様 | <ul style="list-style-type: none"> ●長野 勝也 様 ●布谷 博 様 ●林 信太郎 様 ●播磨 満 様 ●藤井 正秋 様 ●堀川 喜久 様 ●森田 博明 様 ●山中 啓賢 様 | <ul style="list-style-type: none"> ●山本 英寿 様 ●山本 洋二 様 ●吉野 英 様 ●渡部 育子 様 |
- 他 匿名希望 31名様(延べ数) (平成29年5月~平成29年7月末入金分 五十音順)

表紙は

トラウマ聴診器。昔ながらの胎児心拍測定法、心音を聞き胎児の安全と健康を確かめる。広い範囲の音を拾うことができないので、聴診で最良の聴取部位をさがしてから聴く。

ヒトには 創れないモノがあるから。

いつからだろう、四季の移ろいを、あたり前のように感じられなくなったのは、いつからだろう。自然の恵みに抗い始めたのは、後悔しても、いつか創れないモノがあるから。自然と私たちのあたり前の関係を維持するために、

ユニテッド計画 株式会社
本社/〒018-1414 湯上市昭和豊川槻木字横13-1
TEL:018-877-3027 FAX:018-877-3986
リサイクルクラフト秋田事業所/TEL:018-864-0668 FAX:018-864-0680
リサイクルクラフト湯上事業所/TEL:018-877-5770 FAX:018-877-5794

おいしい魚を世界の海から食卓へ

丸水秋田中央水産
代表取締役社長 鈴木 信夫
秋田市外旭川字符合 28
TEL 018-869-5311 FAX 018-868-1931

株式会社 松田
株式会社湯沢生コン
地域の発展とともに
松田グループ
株式会社丸栄建設
株式会社出羽運輸
株式会社工イコウ物産

【本社】湯沢市字鶴館 39-4
TEL : 0183-73-0188
URL : http://www.matsuda-group.jp/

私達は、常にお客様の信頼と満足を目指し、より質の高い工事とサービスを提供します。

ISO9001:2015 認証取得
能代電設工業株式会社
http://noden.jp/
〒016-0801
秋田県能代市浜通町1-45
TEL 0185-54-4249

丁酉会は、秋田大学病院の患者、職員及び学生への便宜供与に関する事業を行うとともに、医学研究の奨励助成を行い、患者等の利便と医学振興に寄与します。

病院での生活を、もっと便利に、快適に
一般財団法人 丁酉会

保険調剤
ていゆうかい
丁酉会薬局
秋田大学病院前

イベント&講座・講習会

Event, Seminar, Workshops & Extension course

催し物

第46回 渡邊杯・第26回 新野杯争奪 全学駅伝競走大会

秋田大学体育会の企画・運営のもと、男子は全10区間(40.8Km)、女子は全6区間(14.4Km)のコースを走ります。

- 11月4日(土)
- 県立中央公園周回コース
- 対象 / どなたでも(高校生以上)
- 参加費 / 秋田大学学生・教職員1人500円
学外一般参加者1人1,000円
- 要申込 / 場所: 体育会本部
期間: 10月16日(月)~10月20日(金)
- ☎ 018-889-2255(学生支援・就職課)

教育文化学部天文台イベント

天文サイエンスカフェや大学教職員による天文講演会、45cm反射望遠鏡を使った夜間天体観測会を実施します。

- 11月4日(土)15:30~18:00
- 12月2日(土)15:30~18:00
- 1月6日(土)15:30~18:00
- 教育文化学部3号館3階301地学実験室ほか
- 対象 / どなたでも
(夜間観測会は中学生以下は保護者同伴)
- 参加費 / 夜間観測会は保険料1人50円
- ☎ 018-889-2655(教育文化学部地学研究室)
- mour@jipc.akita-u.ac.jp

医学部附属病院緩和ケアセンター主催 「ひだまり教室ーがんの痛みと 医療用麻薬について知ろうー」

緩和ケアチームの医師・薬剤師・看護師が、「がんの痛みと医療用麻薬について知ろう」をテーマにお話しします。

- 11月22日(水)14:00~15:00
- 医学部附属病院外来棟1階 院内図書室「ひだまり」
- 対象 / どなたでも
- 参加費 / 無料
- ☎ 018-884-6039(医事課医療サービス室)

秋田大学イルミネーション2017

秋田大学では、街づくりの一環として夜の学園街を生き生きとした魅力的な場に変え、学生だけではなく地域住民の方々にも大学を親しんでもらえるようにとの願いを込め、平成20年度からイルミネーションの点灯を実施。今年も点灯を予定しています。詳細は後日、秋田大学公式ホームページで公開します。



昨年のイルミネーションの様子

大学院理工学研究科 第2次学生募集

一般入試や社会人特別入試などの選抜方法があります。また、秋田、東京で大学院説明会を実施します。詳細は、秋田大学理工学研究科公式ホームページをご覧ください。

- 出願期間 / 平成29年12月4日(月)~12月8日(金)
[事前資格審査受付期間: 平成29年10月23日(月)~10月27日(金)]
- 試験日 / 博士前期課程(修士)平成29年12月27日(水)、28日(木)
博士後期課程(博士)平成29年12月27日(水)
- ☎ 018-889-2313(入試課(理工担当))



推薦入試(Ⅰ、Ⅱ)および一般入試(前期日程、後期日程)学生募集

平成30年度推薦入試(Ⅰ、Ⅱ)および一般入試(前期日程、後期日程)を以下の日程で実施します。詳細・募集要項の請求については秋田大学公式ホームページ→入試情報をご覧ください。なお、一般入試の学生募集要項は11月上旬に公表予定です。

- 出願期間(推薦入試Ⅰ) / 平成29年11月1日(水)~11月6日(月)【必着】
(推薦入試Ⅱ) / 平成29年12月13日(水)~12月19日(火)【必着】
- 試験日(推薦入試Ⅰ) / 平成29年11月25日(土)
(推薦入試Ⅱ) / 平成30年1月19日(金)(医学部医学科のみ1月18日(木)、19日(金))
(前期日程) / 平成30年2月25日(日)(医学部医学科のみ2月25日(日)、26日(月))
(後期日程) / 平成30年3月12日(月)
- ☎ 018-889-2256(入試課)



秋田大学みらい創造基金 ご協力をお願い申し上げます。

「秋田大学みらい創造基金」は、全学的な事業を支援する「一般基金」と、用途を特定した「特定基金」で構成され、現在、企業・団体や個人の皆様など多くの方々にご支援をいただいております。この基金は、教育・研究による社会への貢献という本学の使命を果たすための大きな支えとなっており、今後一層の拡充を図りながら、有効に活用させていただきます。

みらい創造基金による事業実施報告(平成29年4月~7月)

みらい創造基金文庫設置 (特定基金・附属学校園寄附金)



生徒が英語図書を手に取り学ぶことで、国際人としての素養を培うことを目的に、教育文化学部附属中学校に、英語図書を設置しました。

学業奨励金表彰 (一般基金)



学生の修学支援として、学業成績が優秀かつ人物優秀と認められる学生15名に対し、学業奨励金(100,000円/1名)を給付しました。

学生へ緊急支援(一般基金)

家庭事情等の経済的な理由により一時的に必要となる学資及び生活費の支分が困難な学生に対し、無利子で支援金を貸与する制度を実施しています。

学生本人からの申請と指導教員からの推薦書、返還計画書に基づいて審査・面談のうえ、支援者を決定し、支給しています。

※寄附者ご芳名は11ページに掲載しています。

- 〈ご寄附のお願い〉 ●個人の方：一口 1,000円
●法人の方：一口 10,000円

この基金の趣旨をご理解いただき、なにとぞ複数口のご協力をお願いいたします。また、継続的なご寄附もお待ちしております。寄附者様のご都合に合わせた寄附方法・金額の設定が可能ですので、詳細は基金事務室へお問い合わせください。

〈ご寄附の方法〉

- 振込によるご寄附 ●クレジットカードによるご寄附
- 古本募金によるご寄附 ●遺贈によるご寄附

寄附のお申し込み、詳細につきましては、秋田大学公式ホームページをご覧ください。基金事務室までお問い合わせください。

一般基金

教育の質の向上及び研究の推進支援

- 1 横断的な教育・研究プロジェクトへの支援、次世代の研究を担う研究者の学際的・国際的な活動への支援、男女共同参画への支援等を行います。

学生への奨学金等支援

- 2 学生、留学生への経済的支援、学生・団体への課外活動支援、教育文化学部附属学校園の活動支援を行います。

教職員・学生等の国際化・文化・社会活動等支援

- 3 秋田大学が持つ人的・物的資源を活用し、国際社会・地域社会で多様な形で行われる活動を支援します。

卒業生・産業界等との連携支援

- 4 ホームカミングデー等同窓生が相互に連携できる活動を支援します。秋田大学の教育研究環境を活用し、多くの企業と共同で行う活動を支援します。

学部等への支援

- 5 学部・大学院等の教育研究の充実のため、機器、学術図書・雑誌等の充実・整備を図ります。

施設・環境整備の充実

- 6 教育研究環境をより発展的なものとするため、校舎や図書館、グラウンドなどの改修や整備を行い、キャンパス環境を充実させます。

特定基金

- ★ 病院寄附金
- ★ 国際資源学部寄附金
- ★ 教育文化学部寄附金
- ★ 医学部寄附金
- ★ 理工学部寄附金
- ★ 附属学校園寄附金
- ★ 修学支援事業寄附金

〈お申し込み・お問い合わせ先〉

秋田大学みらい創造基金事務室
〒010-8502
秋田市手形学園町1番1号
☎ 018-889-3266(総務企画課内)
kikin@jim.akita-u.ac.jp

秋田大学みらい創造基金は秋田大学公式ホームページからお申し込みいただけます。
(http://www.akita-u.ac.jp/honbu/ed_fund/index.html)

秋田大学 みらい 検索